

対中政策の大転換期がやってきた！
沈黙を続ける日本に襲いかかる国難のすべて

『米中激突と日本』

(著者)古森義久

(価格)1,500円＋税 (発売日)2020年8月26日 (出版元)ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍『米中激突と日本 そして世界が中国を断罪する』を2020年8月26日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

- ・アメリカから読み解く大感染の意味
- ・中国との断交まで示唆するトランプ大統領
- ・バイデン大統領誕生は早計である
- ・超党派のアメリカ議会も痛烈に中国を非難
- ・馬脚をあらわした駐日中国大使の虚構
- ・すでにオーストラリアと”交戦状態”の中国
- ・インド人もビックリの軍事衝突も勃発
- ・イギリスへのマスク外交は失敗
- ・「中国対ドイツ新聞」という珍しい抗争
- ・「イタリアの怒り」全世界で頻発する中国政府への反発
- ・WHO から排除された台湾の成功
- ・アメリカは日本に対中強硬策を期待する
- ・尖閣諸島への侵入、侵略を続ける中国 他



◆目次

【日本にとって国難といえる危機である！】

第一章◎アメリカの対中新政策とは

第三章◎トランプのウイルスとの苦闘

第五章◎アメリカ官民の中国敵視の構造

第七章◎中国のマスク外交の失態

第九章◎コロナウイルスは世界をどう変えるか

第二章◎アメリカの内政はいま

第四章◎トランプのメディアとの戦い

第六章◎中国の大攻勢

第八章◎アメリカの対中軍事抑止

第十章◎日本は中国にどう対するべきか

著者: 古森義久

産経新聞ワシントン駐在客員特派員。麗澤大学特別教授。東京生まれ。1963(昭和38)年、慶應義塾大学経済学部卒。米国ワシントン大学留学。毎日新聞社会部記者、サイゴン、ワシントン特派員、政治部編集委員を歴任。87年に産経新聞に移り、ロンドン、ワシントン支局長、初代中国総局長、ワシントン駐在編集特別委員兼論説委員を歴任。81-82年、米国カーネギー国際平和財団上級研究員。ベトナム報道でボーン国際記者賞、「ライシャワー核持ち込み発言」報道で日本新聞協会賞、東西冷戦終結報道で日本記者クラブ賞、『ベトナム報道1300日』(講談社)で講談社ノンフィクション賞などを受賞

【お問い合わせ先】株式会社ビジネス社 広報担当:松矢 〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail: matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。